



民商・県連が広島県との個別会議 命を削る中小業者の実態を訴え、 金融・賃上げ支援を要請

広島県商工団体連合会（広島県連）は10月8日（水）、広島県商工労働局と個別会議をおこない、中小企業・小規模事業者の実情を訴えました。

広島北民商からは、高竹会長、横畑副会長、要求運動部・寺本部長、陶山事務局長の4名が参加。県連・民商から11名の参加でした。

広島県・商工労働局からは商工労働総務課の藤原課長、経営革新課の和田課長ら4名が対応しました。

本会議は「広島県中小企業・小規模企業振

物価高騰が深刻

広島県は冒頭、日銀の発表を基に「景気は緩やかな回復基調」との見方を示しましたが、参加者からは「現場の実感とはかけ離れている」と強く反論。リーマンショックやコロナ禍以上の厳しさの中で、以下のような声が次々と寄せられました。

広島民商の四郎田さん（弁当販売）は「一昨年からの物価高騰で油や牛肉が倍近くになり、その上、弁当の命の米の価格が高騰。お客さんも余裕がなくシビア。周りでは弁当店や米卸業者の倒産も発生している」と厳しい状況を訴えました。

また、三次民商からは、命を削りながら商売している実態として「体を壊しても従業員

のために働き続けているが、病気で倒れて亡くなった」という事例も告発されました。

他にも参加者から、「トランプ関税でマツダ関連の部品業者が人員削減を余儀なくされている。」「毎年上がる最低賃金は、働く人には必要だが、パート労働者の多い事業所では、人を雇うほど赤字になる」との悲鳴も。法的な倒産ではない休業業が、1～8月時点で4万7千件に達し、黒字廃業も49%を占めているとの報告もありました。

消費税・インボイスの負担増については、来年9月で特例が終わると、大幅な負担増となり、さらに経営が圧迫されることなどを訴え、国へ意見を出してほしいことなども要望しました。

金融・賃上げ支援、 県も「検討」回答

その他の要請内容では、『金融支援の抜本拡充』で、信用情報に影響されない特別小口融資の創設の要望には、「厳しさは認識。条件変更中への緊急融資は現状を踏まえ検討する」

と回答しました。

『賃上げ支援の直接助成』は、他県の実績も踏まえ、県の賃上げ補助金の利用実績が少なく、使い勝手が悪い点の改善などを求め、県は独自の対応も含め「声を施策に反映させたい。検討する」と答

今週の商工新聞
今週の商工新聞1面に、法人の集団申告の様子が紹介されています。ぜひ一緒にご覧ください。

全商連主催（広島北民商も事務所から参加します）

「自主申告サポーター学校」

各回とも夜7時～8時30分（予定）

③10月15日（水）「自主記帳・自主計算活動と3・13の発展」

…北民商から婦人部の自主計算活動を報告します。

④10月22日（水）「消費税・インボイス対策の留意点等」

※11月も支部順で運行予定です。	30日（木）午前	29日（水）午前	28日（火）午前	27日（月）午前	26日（日）午前	25日（土）午前	24日（金）午前	23日（木）午前	22日（水）午前	21日（火）午前	20日（月）午前	19日（日）午前	18日（土）午前	17日（金）午前	16日（木）午前	15日（水）午前	14日（火）午前	13日（月）午前	12日（日）午前	11日（土）午前	10日（金）午前
	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）	（予備日）

音の出る宣伝にご協力を
宣伝カー運行をお願いします
支部順で宣伝カーの運行（できれば2人ずつ）をお願いします。都合が合わない場合は他の日程と調整します。ご協力をお願いします。

について

◎14日（火）	◎16日（木）
・婦人部役員会	・陽気な道場 ※要予約
・要求運動部会	◎18日（土）
◎15日（水）	・40周年実行委員会
・全商連「自主申告サポーター学校」	◎19日（日）
	・県連常任理事会
	◎20日（月）
	・拡大推進委員会

えました。最後に坂井県連会長から、「この会議が言いつばなしで終わらないように、次回の個別会議（来年）までに県の進捗を確認し、事業者が希望を持てる支援制度の具体化を」と要望して懇談を終えました。懇談の様子は広島ホームテレビが取材し、夕方のニュースで紹介されました。【陶山記】

融資、多重債務・サラ金、滞納のご相談は

『陽気な道場』へ

毎週木曜日 夜7時から

※予約をお願いします

法人の会員さんも一緒に税金学習を

『法人学習会』

毎月第4火曜日 昼2時と夜7時

『税務調査の対策会議』は随時開催します！